

会員の声

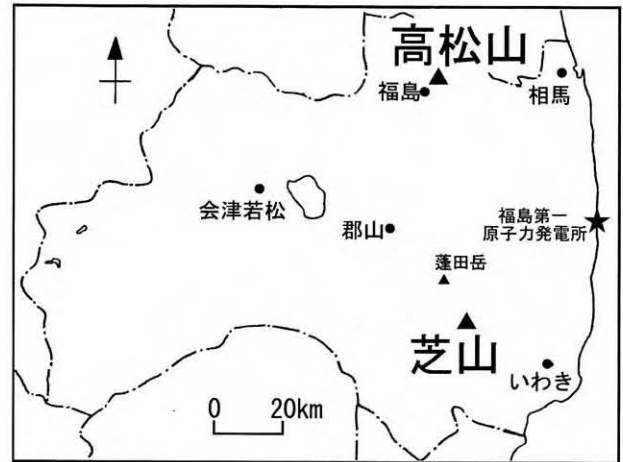
福島第一原発事故、福島2018年の現状

人の気持ちは悲しいもので、嫌なことは忘れようとする。果たしてそれで良いのであろうか。私は以下のように考える。「現実を直視し、それを基に対応策を練るべきである。」と。今回は、2018年に測定した中で、2地点について報告する。以下、測定は「TCS-172B（毎年校正）、高さ1m、徒歩」である。

私は、原発事故当時（2011年3月）、福島市渡利に居住し、放射線物質の汚染に驚嘆した。2011年6月に放射線計を入手し、現在も福島県内の放射線量を測定し続けている。2019年、自家用車に放射線計を積んで中通り（福島市～郡山市～白河市）を走ると未だに警告灯が点滅する。理論的には、2011年3月の福島第一原発事故で放出された放射性セシウムの放射能は、当時の約28%に減衰しているはずであるが。

2018年5月、高松山（標高195m、福島市東北部）の調査をした。測定点は358、空間線量率は0.14～0.77 μ Sv/h、平均値0.39 μ Sv/hであった。この地域の公的除染は、住宅地が2014年に、道路・森林が2017年に、それぞれ終了している。具体的に見ていく。①山麓の住宅地：住宅地は放射線量率が基準値（0.23 μ Sv/h）以下であった。しかし、空き家（2011年時点での）および田畑は、除染されていないらしく、最高で0.74 μ Sv/hであった。②寺院・墓地：0.3～0.4 μ Sv/hの地点が多く、最高値0.61 μ Sv/h。③高松山山体：0.5～0.6 μ Sv/hの地点が多く、最高値0.77 μ Sv/h。④特記：孟宗竹が異常に大きい。2018年の若竹は、直径約15cmもあった。竹の直径は、年を経る毎に太くなっているように見えた。

2018年10～12月、芝山（標高819m、いわき市・古殿町・平田村の境）の調査をした。ピークは南北に2つある（北側の標高819mの山頂と南側の標高800m弱の地点）。この山は「芝山公園」として観光地になっている。また、南側のピークの東にある広場（芝生）のみは、2014年に東電により除染された。他は、除染されていない。測定点は801、空間線量率は0.06～1.71 μ Sv/h、平均値0.30 μ Sv/hであった。具体的に見ていく。①北東山麓（標高約600m）：0.2 μ Sv/h以下の地点が多く、最低値0.06 μ Sv/h。②山体東側の林道・登山道：①より山頂へ続く道（登山道とアスファルト道路が交叉しながら峠（2つのピークの間、標高約760m）へ続く）。山麓で0.1～0.2 μ Sv/h。放射線量率は、標高と伴に上昇する。峠付近で0.3～0.4 μ Sv/h。ただし、局部的に高い所が点在する。最高1.07 μ Sv/h。③山頂より北北東に延びる稜線：標高770m付近（芝山観音がある）より上（南）では、放射線量率が上昇し、1 μ Sv/h以上の地点が多数出現する。最高1.56 μ Sv/h。④南側のピーク付近：ピークの東側の広場（芝生）は東電



により除染されている。ピーク付近の南北に続く稜線には樹木があり、0.6 μ Sv/h以上。特にピークの北北東の稜線では1 μ Sv/hの地点が多数あり、最高は1.71 μ Sv/h。

なお、2011年8月にも芝山の調査に来た。その際、南側のピークの南東約80mの車道（2018年、約0.3 μ Sv/h）では、車中で約2.5 μ Sv/hであった（経験的には、野外は車内の1.5～2倍の放射線量率）。今回、1.71 μ Sv/hを計測した地点は、2011年にはいかほどの値であったのか。考えるだけでも恐ろしい。

これらの調査の内容は、2013年から毎年、1月の名古屋大学のシンポジウムで、持ち時間40分で発表している（そくほうの記事を読まれた刈谷支部の会員から、2012年に発表の手配をしていただいた）。毎年、多くの質問・意見をいただく。参加者の原発事故への関心の高さを感じている。話は変わるが、今年4月、福島支部総会（福島大学）で同内容の発表を行った。その際、支部会員から「その調査に意味はあるのか。」との意見が出た。遡れば2013年の発表でも支部会員2名から「福島県はそんなに汚染されていない。測定機が狂っている。」との反発が出た（発表した飯館村の汚染土壌を京都大学の小出裕章氏に測定していただいたところ、放射能は約1460万Bq/kg。参考：要管理の土壌は0.8万Bq/kg以上）。今回の発表で、再度、福島支部の忌避感情を強く感じた。なお、2013年には、そくほうの記事を読まれた日本地質学会の会長より原稿依頼があり、同学会のHPに記事を書かせていただいた。これらからも、他県の方の強い関心を感じる。

これらの報告書は（この記事のものも含めて）、インターネット検索「千葉茂樹 原発事故」でヒットします。興味のある方は、ご覧ください（京都大学吉田教授のHP「Watt & Edison」に掲載）。調査データのほか、私の退避行動、除染の問題点、放射性物質の移動・集積なども書いています。（福島支部・千葉茂樹）